

教育のフロンティア

NO.274

2022.10月-

認定NPO法人 北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

(振込先:郵便局 02790-6-9847 北海道自由が丘学園をつくる会)

〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条15丁目5-11 TEL(011)858-1711 FAX(011)858-1333

URL <http://www.hokjioka.net> E-mail : codmokan@agate.plala.or.jp支援会員・寄金 3,000円(年額)
*会員には、本通信を配布します。

<9/17・「第5回講座」>

「エネルギーのあり方」をテーマに、北大/山形さんと原発・核ゴミ・連絡会/井上さんの熱意ある講話を聴きながら、多彩な参加者が交流しました。
下・写真:9/21Am=日ハム教室、
Pm=中央市場見学会の一コマ。
(生徒は沢山質問していました)

INDEX

- P1: 巻頭言
- P2: ヒューマントラスト/運動他
- p3: 講座、学校設立運動
- p4-5: 1 学期「成長の記録」
- p6-7: スクール食育、初等部
- p8: エッセー、カレンダー、後記

「教育実践25年、次のステップをどう・・・」

認定NPO法人・代表理事 吉野 正敏

“新しい教育・学び舎”を構想して1998年に夕張プレススクール開校して以来、今年25年目です。この間、多くの中学生が様々な成長をしながら巣立っていきました。近年は小学生を多く受入れ、小2～中3年生が元気に登校^{*1}してくれています。

私たちは初期より『自由と協同の教育』を掲げています。具体的には無学年/異年齢集団のオープン型運営のもと、オリジナル教材と個別教科、体験総合型学科・ミーティング重視を柱にしなが、さらに継続的農業実習・様々な行事・選択学習・大学生実習を組合せて、“主体的かつ協同的な場”となることを目指しています。とはいえ実際には学年幅(入学時中学1年 or 3年等、随時受入れ)・在籍期間の長短(小学から4年以上や一年未満)・登校日数(フル～数日コース)など個々の「濃淡」もあり、スタッフはそれらを包摂しながらのサポート^{*1}です。人間力も試されます。

さて、周年記念の節目年に、このコロナ下で何ができるか、何を大事にすべきか・・・ NPO総会やその後の定例会議に諮りながら検討中です。例えば、「講演&交流」、「学園祭とのコラボ」、「まおい小学校設立へのイベント」・・・また連携^{*2}的企画では、「地域コンサート/鑑賞 or 合唱」、「書籍『不登校の子どもとフリースクール～持続可能な居場所づくり(P2記載)』普及」なども挙げられています。

過去に実施した周年実践^{*3}も踏まえつつ、より今日的に新たな発想も大事であり、会員の皆さんのご意見も募りながら進めたいと考えます。キーワードは“共に創る、共に育ちあう”でしょうか。

注1:「一番大事なことは、まずは子どもたちを歓待し、承認すること・君はここにいる、ここにいていい。いる権利がある。ここにいることを私たちは願っている。そう伝えることができたなら、学校教育としてはもう上等・・・」(内田樹『複雑化の教育論』、2022.1月) 注2:『市民立』は、長年の余市教育福祉村/農業や教育団体研究者との繋がり、「講座」共催発信など多々。注3:10周年/「湯川れい子～ミュージック・田中一～物理学者講話」、15周年/「鈴木講演&交流」、20周年/「学園祭+『陽はまた昇る』映画・コンサート、+堀講演会。